

# 令和8年第1回（1月）山陽小野田市教育委員会会議定例会会議録

1 日 時 令和8年1月22日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 市役所 本館3階第2委員会室

3 出席委員 教育長 長友義彦 職務代理者 竹田佳枝  
委員 末永育恵

4 欠席委員 2人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤山雅之	教育次長兼教育総務課長	矢野徹
学校教育課長兼心の支援室長	升谷哲也	埴生幼稚園長	福間久美子
学校給食センター所長	吉村匡史	社会教育課長	山本修一
中央図書副館長	増富久之	歴史民俗資料館長	若山さやか
小学校長会代表	吉野浩美	中学校長会代表	永田直子
書記	田坂優香		

6 傍聴人 0人

7 議事日程

(1) 開会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報告

(4) 休憩

(5) 議事

- ① 議案第2号 山陽小野田市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について (教育総務課)
- ② 議案第3号 令和8年度全国学力・学習状況調査への参加について (学校教育課)
- ③ 報告第1号 令和7年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について (学校教育課)
- ④ 報告第2号 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について【概要】 (学校教育課)

(6) その他

- ① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)
- ② 県費負担教職員の兼職及び他の事業等の従事許可について (学校教育課)

③ 市職員の人事について

(教育総務課)

④ その他

(7) 閉 会

---

## 開 会

それでは、定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による1月の定例教育委員会会議を開催します。

本日は、河村委員と嶋本委員が欠席ですが、教育長及び委員の合計の過半数が出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

---

## 会議録署名委員の指名

○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。竹田委員、末永委員よろしく願いいたします。

---

## 会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議事日程「6. その他」の「(1) 県費負担教職員の人事について」、「(2) 県費負担教職員の兼職及び他の事業等の従事許可について」、また、「(3) 市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められます。

よって「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開としたいと思います。

これに賛成される方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございます。全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

---

## 各課・館業務の報告

○長友教育長

報告事項に入ります。まず私からは、1月19日に開催された「山陽小野田市総合防災訓練」と1月20日にオンラインで実施された「令和7年度市町村教育委員会研究協議会」についての報告をい

たします。

まず、「山陽小野田市総合防災訓練」について報告します。地震調査研究推進本部によりますと、30年以内に60から90%の確率でマグニチュード8から9クラスの南海トラフの大地震が起こるとされています。本市は南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されていることから、地震を想定した総合防災訓練を毎年実施しており、教育委員会は「文教対策部」として、教育長の私、それから教育部長をはじめ教育総務課・学校教育課・社会教育課の関係職員が参加しております。今年度は令和8年1月19日（月）午前7時30分に豊後水道南海トラフ海域周辺を震源地とするマグニチュード9の地震が発生し、山陽小野田市においては2分間に渡り震度5弱の激しい揺れに襲われた、という想定のもと訓練を実施しました。地震に伴って発生する津波については、午前11時30分に小野田港で3.4m、埴生港で3.7mの津波が襲来するという想定です。

訓練では、市長部局とともに被災状況の確認や市民への対応等、予想される出来事に対してどのように連携・対応していくかを洗い出していました。文教対策部としては、まず、児童生徒の安全確保と安否確認、学校と保護者の情報の共有そして保護者への引き渡し、学校施設・社会教育施設の被災状況の確認を柱として対応を考えました。特に地震発生が登校中であることから、そうした場合の対応について学校・家庭・地域が考え方を共有しているか、教職員の参集が十分でない中、どのように対応していくか等、課題がたくさんあることがわかりました。特に地震が起きたとき、子どもがどのように対応していくかを今後学級で一緒に考えることが必要だと思いました。

訓練で浮かび上がった課題につきましては、各学校へお知らせし、様々な場面で話題にしていきたいと思います。

次に、1月20日オンラインで実施された「令和7年度市町村教育委員会研究協議会」について報告いたします。

私は、公立小中学校の適正規模・適正配置について「教育委員会の機能強化・活性化」の分科会に参加しました。適正規模・適正配置につきましては、どこの市町村もそのような課題を抱えている、それから実際に進行中であるという市の報告も聞きました。上手くいっているところについては、適正規模・適正配置ということを主眼に置くのではなく、10年後20年後その地域がどのような姿になるかをその地域の代表、本市で言えば「RMO」の代表になりますが、そうした方とも、まずは話をし、学校をどうしていくかというところに進んでいくのが地域の合意を得やすいという話もありました。これもケースバイケースだろうとは思いますが、本市はRMOのシステムもしっかりしたものになりつつありますので、学校運営協議会とも協働しながら一緒に20年後30年後のまちの様子について考えることが必要だと思いました。

それから、もう一つの「教育委員会の機能強化活性化について」は、とにかくいろんな情報が教育委員会にあるんですが、その情報をどのようにしていくか、特に教育委員同士の情報共有をどのようにしていくかが話題の一つとしてありました。今学校で使っているGoogleのクラスルームを使って、教育委員同士の情報共有をしている委員会もありました。そうするとちょっとした気づきや疑問を随時挙げて、それに対して皆で情報共有して考えていく、行事に参加しても写真を撮ってすぐに上げることで学校の様子も共有できる、そうしたことをされているところもあり、ICTも進めていますので、今後本市も考えていこうと思いました。

この研究協議会には末永委員も参加されていますので、末永委員からも少し報告をお願いします。

○末永委員

私も、教育長と同じ日にオンラインで研修会を受けさせていただきました。私の参加した分科会は、

「教育委員会の機能強化・活性化について」と「地域と学校の連携・協働について」、この二つのテーマになります。

まず「教育委員会の機能強化・活性化」についてですが、とてもいい試みをお聞きしたのでご報告できればと思います。それは、奈良県の天理市のことなんですが、天理市と山陽小野田市は規模も人口も大体同じで、小中学校も大体同じような個数なんですが、天理市が「ホットステーション」というのを令和6年度から作られていて、ホットステーションのメンバーは、教育長や市長、心理士さん、先生方、スーパーバイザーとか弁護士さんが入ることもあるようで何をする機関かという、誰でもいいです、いろいろな悩み・不安・子育てについて、何かある人はこちらにご連絡ください、というのがホットステーションという機関だそうです。令和6年度は、教育委員会としてここを立ち上げて230家庭の相談を聞いて、500以上の悩みや不安にこのメンバーで1年間されたそうですが、ここで一元化して相談を受けます、今まで例えば学校の個々の先生方に、もちろん今でのあると思うんですけど、保護者の中でよく悩みがあって、何処に、誰に言ったらいいのかわからないと言う保護者の方が多いんですけど、そういう方がこういうのが教育委員会の機関としてあると連絡しやすいのではないかなと思いました。「どんな方から相談がくるんですか」とお聞きしたところ、「もちろん保護者から直接くることもあるし、学校の先生が学校の中でいろんなことに困って、先生から相談されることもあるし、いろんな方から相談があります」ということでした。実際令和6年度では、天理市の教員退職者がメンタル的なもので16名ぐらい退職者がいたそうなんですけど、これを立ち上げて令和7年度の今のところゼロということでした。何度も言われていたのは、先生一人で抱え込まないで、問題は教育委員会も抱えますからというスタンスでやっていますとおっしゃっていて、先生もなんですけど、保護者も一人で抱え込まないで専門家のみんなでいろんな経験を持った方々が話し合っ解決して下さるといのがとてもいいなと思いましたので、ご報告です。ホームページがとても見やすかったので、ぜひ天理市のホットステーション見られてください。

教育委員会の活性化ということで、本市のインスタのことや、今年から違う校区のPTAさんとお話しする機会を設けました、という報告をすると、他県の方にもすごく好評で「すぐ出来そうなのでやってみたいと思います」と高評価をいただきました。

もう一つのテーマ「地域と学校の連携・協働について」ですが、本市はコミュニティ・スクールも進んでいるので、他県の方からいろいろ聞かれてお話すると、みなさんすごく驚かれて「とてもいい学校がたくさんあるんですね」とおっしゃっていただけたので、私もすごくうれしかったです。

以上です。

○長友教育長

はい、以上で報告を終わります。

ただ今の件について、ご意見ご質問はございませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

防災訓練の話ですが、この想定が子どもたちが登校する時間帯であり、先生方がまだ完全に揃っていないような時間帯であったということもあるので、この部分はそのときに地域のどれだけの力が借りられるのかも地域の方々と一度話してみる機会があるといいなと思いました。

## ○長友教育長

そうですね。小学校長会・中学校長会来られますので、学校運営委員会等でそうした話もいるのかなと思います。想定で高千帆の校長とも話したんですけど、登校中になったときに、まずは学校に来なさいと徹底しているかというところ、家に帰る子もいると思うんですけど、では家に帰ったときに学校にどのように連絡するか、それから家に帰っても働きに出て家にいらっしやらない場合、このような場合は学校にみんないるよ、ということを家族の中で話しているかが重要なのかなと思いました。これは地震が昼間でもあったときに避難場所はここ、集合場所はここ、というのを話し合おうというのは防災の方からもいろんな形で広報されているかだと思います。その学校版ということで話をすることは必要なのかなと思いますので、是非ともお願いしたいと思います。

その他よろしいですか。それでは、藤山教育部長お願いします。

## ○藤山教育部長

私のほうからは、年始にあたり開催されました公務始め式について報告します。

出席した課長級以上の職員約80名を前に、藤田市長は、今年4月からスタートする第二次山陽小野田市総合計画後期基本計画の基本となる考え方、「希望 will-being」を今年のテーマに掲げ、市をこういうふうにしていきたいとか、市民サービスの向上を図っていきたい、そういった思い、気持ちがあって努力した結果が、大きな成果につながっていく、こういったことを後期基本計画の4年間積み上げることで、トータル12年間の計画であるスマイルシティを実現させたいという考えを示しました。

また、多くの市民や企業団体と一緒に力を合わせて、本当の意味の協創によるまちづくりを進めていき、官民連携や関係人口の創出等を、スマイルエイジングをはじめ、スマイルプランナーや、DX（デジタルトランスフォーメーション）、GX（グリーントランスフォーメーション）等様々な手法で、世の中の流れにしっかりマッチしたことを一生懸命取り組み、もう一段ギアを上げて、4年間しっかり仕事をしようと職員に呼びかけました。

私の報告は、以上になります。

## ○長友教育長

はい。ただ今の報告に関して、ご意見ご質問等ございませんか。よろしいですか。

それでは、続きまして矢野教育次長兼教育総務課長お願いします。

## ○矢野教育次長兼教育総務課長

それでは私から共催後援の報告をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。こちらにつきましては、令和7年12月1日から令和7年12月31日の間に共催又は後援を承認したものでございます。ご確認をよろしくお願いいたします。

この間に寄附はございませんでした。

教育総務課が掲げておりました、工事の進捗状況についてお話をさせていただきます。赤崎小学校管理特別教室棟外壁改修についてですが、それにつきましては、12月で完了の報告をさせていただきます。大変失礼いたしました。トイレ洋式化については、今年度は小学校では厚狭小学校・高千帆小学校・小野田小学校・須恵小学校の4校で実施いたします。中学校におきましては、高千帆中学校と竜王中学校の2校で実施いたします。いずれも工事契約中でありまして、3月末の完了を目指しているところでございます。

最後になりますが、第4期教育大綱並びに第2期教育振興基本計画につきましては、ご協議いただきまして、大変ありがとうございます。スケジュールについてですが、現在パブリックコメントを実

施しております。期間につきましては、1月20日（火）から2月18日（水）までとしております。周知といたしましては、市の広報誌や市のホームページで公布してありまして、実際に手に取って見られる場所の閲覧場所といたしましては、教育委員会・山陽総合事務所・南支所・埴生支所・公園通り出張所・厚陽出張所に備えております。

今後の予定につきましては、2月下旬にパブリックコメントの意見を基に必要なに応じて修正等検討してまいりたいと思います。

3月26日に予定しております教育委員会会議にお諮りをして承認をいただければ、確定をして市ホームページにて公表する予定としております。

教育総務課からは以上でございます。

#### ○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

（「はい」という声あり）

それでは、升谷学校教育課長兼心の支援室長お願いいたします。

#### ○升谷学校教育課長兼心の支援室長

学校教育課から報告させていただきます。

最初に、3学期スタートいたしました。市内の小・中学校では、14日間の冬休みを終え、1月8日（木）に始業式を実施しました。冬休み期間中、児童生徒が大きな事故や事件に巻き込まれたとの情報はなく、概ね安全に過ごすことができました。

3学期の良いスタートが切れるよう、各学校では、冬休み中は、教室に足が向きにくい児童生徒を中心に、電話連絡等を行い、状況確認や登校への支援を行いました。

始業式当日は、指導主事が各校の登校の様子を確認させていただきました。この日の朝は、特に寒かったと記憶していますが、地域の方や保護者の方の見守りにより、児童生徒は元気に登校していました。

次に、高校入試についてです。

先週の土日に、大学入試共通テストが実施され、テレビのニュース番組等でも、大きく取り上げられていました。

中学3年生においても、いよいよ本格的な入試シーズンに入っています。今年は、冬休み中の1月6日（火）の私立の推薦入試が、この近辺では最も早く、今週に入り、多くの私立高校で一般入試が行われています。この入試の時期ですが、以前よりも少し早くなっている傾向が見られます。

手元の資料をご覧ください。今年度の入試で大きく変わるのが、公立高校の出願方法です。昨年までは、紙媒体による出願でしたが、今年からWEBによる出願となります。

出願の流れとしては、まず志願者が、WEB出願システムに、氏名や志願高校先などの志願情報を入力し、中学校もこのシステムにより、調査書等の選抜に必要な書類を提出します。受験票や合格通知もこのシステムが活用されます。

公立高校選抜としては、大きな変更点です。入力内容の不備等がないよう、各学校において細心の注意を払って準備を進めているところです。

ちなみに、今年度の公立高校の学力検査は、3月5日（木）となっています。

続きまして、教育支援センター（心の支援室）の活動状況について

ふれあい相談室では、先月に引き続き、温かく落ち着いて雰囲気の中で穏やかな活動が行われています。また、新規の相談が数件ありましたが、支援員が丁寧に対応し、本人や保護者に寄り添った支

援を行っています。

中学3年生は、進路実現に向けて、支援員や学校と連携しながら前向きに取り組んでいます。すでに卒業後の進路を決定した生徒もいれば、入試日に向けて頑張っている生徒など、それぞれが次のステージに向けて準備を整えています。

先日、山陽のふれあい相談室にお邪魔させていただきました。大きな窓から温かい日差しが差し込み、教室全体が明るく開放的で温もりのある雰囲気を感じさせていました。

子どもたちと支援員と一緒に作った万華鏡をのぞかせてもらい、中学生に声をかけて教室を後にしました。

以上で、学校教育課からの報告を終わります。

#### ○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

続きまして、福間埴生幼稚園長お願いします。

#### ○福間埴生幼稚園長

はい、埴生幼稚園です。

1月8日より3学期が始まりました。子どもたちは「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。」と挨拶をして元気に登園することができました。長期の休み明けでしたが生活リズムが崩れることなくスムーズに園生活を送ることができています。

今月から園児が2名入園しています。年長児1名、満3歳児1名が入園し11名になっています。

それでは、園の様子についてご報告いたします。19日にあおい保育園との二園交流会を埴生幼稚園で行いました。遊戯室でゲームをして遊んだり園庭で遊んだりしました。直ぐに打ち解ける子どももいれば、なかなか馴染めない子どももいました。来週27日(火)に年長児対象に埴生小学校の1年生と「昔の遊び交流会」があったり埴生中学校の3年生が絵本の読み聞かせをしてくれたり、小学生や中学生と触れ合う機会があります。その時にもあおい保育園の友達と会えるので少しでも心を開いて友達になれたらと思っています。

次に20日に行った保育参観日と観劇会についてです。観劇会は図書館もみの木広場さんに来てもらい、パネルシアターや絵本の読み聞かせ、人形劇などを見せてもらい、たくさんのお話と触れ合うことができました。1時間という長い時間でしたが年長児から年々少児まで楽しんで見ることができました。保護者の方も熱心に見ておられ、子どもたちの思いと共感できたことと思います。

3学期は進級、進学に向けてまとめの時期でもあります。インフルエンザ等の感染症はまだまだ油断ができないので体調管理に留意し生活をしていこうと思います。

埴生幼稚園からは以上です。

#### ○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

それでは、吉村学校給食センター所長お願いいたします。

#### ○吉村学校給食センター所長

1月の行事及び報告について学校給食センターから4点報告します。

資料をご覧ください。

1点目は、1月の巡回指導です。栄養教諭3人が5校7か所で実施しました。

2点目は、試食会についてです。

学校試食会を1月26日（月）から28日（水）植生小学校で3回実施する予定です。  
学校給食センターでの見学試食会を1月27日（火）に実施する予定にしております。参加者は、12名の申込がありました。給食を提供している平日での開催ですので、参加が難しいようですので、来年度は、来年度小学校に入学する保護者も対象に開催したいと考えています

3点目は、地場産給食週間の実施についてです。

地場産給食週間は、6月・11月・1月の年3回実施しています。13日から19日までの地場産給食週間で提供した給食は、添付資料の（3）の掲載しているとおりです。期間中の県内産の使用率は76.7%、でした。市内産の使用率は米とネギだけですので10%でした。

令和6年度の地場産週間で使用した県内産の食材使用率は、70から73%ですので、本市での県内産の食材使用率は県平均以上の利用になっています。

4点目は、全国学校給食週間の実施についてです。

毎年1回実施している事業で、この週間に地域の特色や学校給食の歴史にちなんだ給食を提供しています。献立については、添付資料（4）をご覧ください。明治22年の給食の始まりから、現在までの給食を再現しています。

最終日の28日（水）は多様化した給食としてイタリア料理を提供することにしています。これは、来月6日からイタリアのミラノとコルティナで、オリンピック・パラリンピックが開催されることにちなんでの献立です。給食を通じて、イタリアの味、イタリアのこと、オリンピックのことに興味を持ってもらいたいという、栄養教諭の思いが込められたメニューになっています。

報告は以上です。

#### ○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

私の方からよろしいですか。センターの見学試食会が1月27日で平日開催のため参加が・・・という話だったと思うんですが、これをやるよという広報はいつぐらいですか。

#### ○吉村学校給食センター所長

2か月前ぐらいに広報に掲載しております。学校の方にもですし、**保護者に配付する**献立の方にも募集はかけています。大体12人から多くて20人弱の方が参加されます。未就学児の**保護者の方が**「来年子どもが小学校に上がるので参加したいけど、できないよね」との問い合わせがありました。実施要項自体が小学校1年生から中学校3年生で通われている方となっているので、来年は**募集する範囲を**、もっと広げて逆に平日なので未就学児の**保護者の方にもお声掛けができるよう**改善していきたいと考えています。

#### ○長友教育長

はい、ありがとうございます。その他よろしいですか。

続きまして、山本社会教育課長お願いします。

#### ○山本社会教育課長

社会教育課から、ご報告いたします。

初めに山口県公民館連合会が主催する「公民館報コンクール」についてです。このたびコンクール受賞決定の通知があり、市内の地域交流センターが受賞しましたので報告いたします。

有帆地域交流センターが発行する「ふるさと通信ありほ」が優秀賞を受けられました。

また、出合地域交流センターが発行する「出合地域交流センターだより」と高千帆地域交流センターが発行する「コミュニティだよりTakatho」が特別賞を受けられました。表彰式は、1月

29日（木）に山口県庁で行われる予定となっております。

次に二十歳のつどいについてです。1月11日（日）14時から不二輸送機ホールで開催いたしました。市外在住の参加希望者を含め430人の参加がありました。

当日は、市長、議長から祝辞があったほか、二十歳を代表して、お一人に市民憲章を唱和したいただき、代表あいさつとして、お二人から二十歳の決意を述べていただきました。

式典後、市内事業所にご協力いただいた市内名産品抽選会と校区ごとの記念撮影を実施いたしました。また、市自治会連合会によるタイムトレジャー☆20（小学校6年生卒業時に20歳の自分宛に書いた手紙）の受け渡しが行われました。

この「二十歳のつどい」の開催が、20歳という門出の日に、各々が将来への意志・意欲を高める場、また地域社会の一員としての意識醸成につながる場となるよう、これからも努めてまいります。最後に文化財防火デーについてです。文化財防火デーとは、法隆寺の金剛壁画が焼失した1949年1月26日をきっかけに、文化財保護の啓発のため制定されたものです。

毎年この月に合わせて、文化財防火訓練をしておりますが、今年度は1月21日に歴史民俗資料館にて実施いたしました。

事務室給湯器から出火したことを想定し、初期消火、通報、来館者の避難誘導、収蔵品の搬出等、有事における職員それぞれの役割を確認しました。

最後に、消防職員から消火器の取り扱いについて指導を受け、初期消火の訓練を行いました。火災等の災害発生時には、人命を優先し、一連の行動を迅速かつ確実にできるかどうか、また来館者の避難する動線等を見直す機会となり、職員の日頃からの防災意識を高めることができました。

社会教育課からは以上でございます。

#### ○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。二十歳のつどいは、出席されましたか。感想とか、こういうことがあったらいいなという意見があればお願いします。

#### ○竹田委員

一番コロナでいろんな行事が全て中止になったり、休校になったその年の子どもたちと聞いていますが、それで間違いはないですかね。昨年度、待っている間に皆さんが見る写真についてをお願いをしたと思うんです、いろんな場面があるはずだから。たぶんこの年の子どもたちは非常に少なかつたろうから、ちょっと大変だったのかなと思いながら見させていただきました。女の子ですけど、今年ちょっと最初からいろいろと結構大きな声で発言が、後ろの列の子だったので、ずっと四六時中、祝辞の際も市長さんのお話もずっと、途中で退室するとか、仕方がないことではありますけどちょっと残念だったなという思いがしています。それから式が終わって写真撮影のときに、やっぱり旗を持った子がいたとか、飲酒の件もちょっと聞いたりはしたんですけど、これはちょっと事実かどうかわかりませんが、持ち込んでいたんじゃないかという話が出ていました。これはもう結果なのですが、今までが落ち着いた成人式だったので、ちょっと今年は違ったかなと残念だったなという思いです。

#### ○長友教育長

はい。

山本社会教育課長どうですか。

#### ○山本社会教育課長

今年度はのぼり旗を持ってくる女性が四人いて、入口では回収したんですけど会場に持って入った

んですね。

○竹田委員

終わってからですよ。写真撮影の時にというのを聞きました。本当に私語が多くてちょっと・・・。  
丁度後ろの列がざわざわしていたので、残念でした。

○長友教育長

飲酒についてはどうでしたか。

○山本社会教育課長

会場を閉めた後なんですけど、お酒か何かわかりませんが空瓶が一本転がっていました。

○長友教育長

壇上から見ておられますけど、落ち着きのない女の子が、今年の一部の女の子がずっと喋ったりとか足音をたてて歩いたりとかがあったのは残念だったと思います。男の子もちょっと変わった格好をした男の子もいたんですけど、でも式の間はすごく静かに話を聞いていて感心だなと一部で思いつつ、一部では私語が多いなということで、上からもよく目立っていたなと思いました。また来年はそういったところも事前に注意書きを書いているとは思いますが、引き続きしっかりとお互い注意し合っていていい式になるようにしていければと思いますので、よろしくお願ひします。

その他よろしいですか。

(「はい」という声あり)

それでは、増富中央図書館兼厚狭図書館副館長お願ひします。

○増富中央図書館兼厚狭図書館副館長

それでは市立図書館からご報告申し上げます。市立図書館関係資料をご覧ください。

まず中央図書館について《12、1月行事報告》ですが、1月17日(土)「サビエル高校留学生ギャラリートーク」を開催しました。サビエル高校のスイスとタイからの留学生に「私の国の新年」というテーマで、それぞれの国の新年の過ごし方や伝統について紹介していただきました。留学生はそれぞれの国の民族衣装で写真を交えてお話されて市民との国際交流を図ることができました。

また、12月で帰国されたラオス・ベトナム・スリランカ・ブータンからの留学生も事前に録画していたビデオを上映してお話をいただきました。

次に《1、2月行事予定》ですが、2月12日(木)「図書館協議会」の開催を予定しております。協議会では、今年度の図書館の利用状況や行事等の開催状況を報告し、委員さんからご意見をいただく予定となっております。

続きまして、厚狭図書館についてです。《12、1月行事報告》ですが、12月26日(金)「クラフトバンドで作る干支作り教室」を開催しました。毎年年末に来年度の干支をクラフトバンドで作成する教室を開催しております。小学生から大人の方まで参加があり、今回は馬年の置物を作成しました。参加者の中には毎年されて十二支の干支全てを作成された方もいらっしゃいます。

次に、「特別整理期間について」蔵書点検のため、中央図書館・赤崎分館・高千帆分館につきましては、2月24日(火)から3月1日(日)まで、厚狭図書館は、2月17日(火)から2月22日(日)まで休館いたします。

最後に、四半期ごとの統計資料ですが、来館者数と貸出点数とも前年度よりも増加しております。また、電子図書館の利用につきましても閲覧点数・貸出点数とも前年度よりも増加傾向となっております。

図書館からは以上です。

○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

中央図書館の展示コーナーですが、毎回いろいろな工夫をしていていつも楽しみにしているんですが、お正月はおみくじとか、ずっと継続していらっしゃいますけど、本当に本の紹介であったり、いろいろな工夫で楽しめるコーナーにしてくださっているの、ありがたいなと思っています。

○増富中央図書館兼厚狭図書館副館長

ありがとうございます。

○長友教育長

その他ございませんか。

図書の貸出と電子図書の閲覧数は、昨年度より増加ですか。

○増富中央図書館兼厚狭図書館副館長

そうですね。電子図書館につきましては、昨年度よりは増加しております。ただ、令和5年度が学校との連携を図った最初の年度で、小学生の利用が多かったですから、令和5年度よりは今年度はちょっと下回っていますが、令和6年度よりは増加しています。

○長友教育長

貸出数の方もだんだん増えてきているということですか。

○増富中央図書館兼厚狭図書館副館長

紙の方ですか。

○長友教育長

紙の方です。

○増富中央図書館兼厚狭図書館副館長

紙の方は、令和5年度と比べても増加しております。

○長友教育長

はい。いろんな取組が奏功しているのだと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、若山歴史民俗資料館長お願いします。

○若山歴史民俗資料館長

歴史民俗資料館からご報告いたします。

資料をご覧ください。年明けから、2階を常設展示として、高泊開作や考古学の資料を展示しています。また、先月もお伝えしましたが、特設コーナーとして厚狭毛利家文書を展示しています。1月24日（土）に行う光成準治先生の歴史講演会『厚狭毛利家文書にみる16世紀の毛利氏と豊臣政権』に関する資料を展示していますので、講演会の理解が深まる内容になっています。

次に、次回企画展についてです。2月6日（金）から3月24日（火）まで、企画展「本山半島の歴史」を開催します。この企画展は、ふるさと文化遺産「コーストウォーク～海岸線から見る情景～」の登録記念として開催します。これまでのふるさと文化遺産についても紹介します。寒い時期に入りますが、多くの方に来ていただけたらと思います。

また、最初の資料の方にある小野田高校の「総合的な探究の時間」については「科学で山陽小野田を盛り上げよう」ということで、硫酸瓶について調べに来たので解説をいたしました。硫酸瓶の釉薬の話や地元の粘土の話等を科学と結びつけるようです。

資料館からは以上です。

#### ○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、小学校長会から本山小学校吉野校長先生よろしく申し上げます。

#### ○吉野小学校長会代表

小学校長会から3点報告します。

1点目は、3学期の開始についてです。学年最後の締めくくりの3学期がスタートしまして、52日間の学校生活が始まりました。特に6年生は48日間と短く、一日一日が大切な日々となっています。卒業アルバムや文集、将来の夢、記念品の製作等、たくさんの思い出作りをおこなっています。資料の方に、本校の始業式の様子を載せておりますけれども、新年の誓を発表したり良い始業式ができたと思います。

各学校での冬の行事、作品作りがありますが、本校では寒い時期にも健康な生活を自分で作れるようにということで、健康教育の参観日を行いました。その写真を載せておりますが、地域の方から体幹を鍛える体操を教えて頂いて、子どもたち・保護者・教員も全員で体を動かしました。地域の方との連携が、子どもたちが地域を愛する心を育てるものにもなっています。

2点目は、防災教育についてです。昨年末から各地で地震が発生しており、被災地や被災者の現在の様子がメディアを通して伝えられていますし、各地で最近では山火事等の発生も伝えられています。学校では避難訓練をはじめ、危険予測学習や社会科の防災教育において避難の仕方・助け合っていくこと・情報の伝え方、さまざまな形で児童に「自助・共助・公助」を指導しています。いざというときに動けるように備えていきたいと思っております。

本校では、児童には事前に日時を知らせずに避難訓練を実施したり、海が近いので津波から逃げる防災案を見せたり地域の防災士の方に講話をしていただいたりして、地震が起きた際の対処の仕方等の意識を高めているところです。写真にも載せておりますが、本校の運営協議会の会長が防災士なので来ていただいてお話をしてもらっています。

右の写真は2学期なんですけど、地区の防災訓練を本校で一緒にやっております、地区ごとにどういう風に逃げたらいいのかの話もしてもらいましたし、避難所で使うテントを子どもたちと一緒に組み立てたりしております。

3点目ですが、学校での学習活動についてです。各学年とも作文の学習では毛筆での書写や書初め等、それから図工の学習では紙版画・色版画・木工版画、理科の学習では、金属の膨張実験や物の温まり方等、いろいろな実験を行っています。

1月の最終週は、学校給食週間でいつもおいしい給食に携わってくださってくださる方々に感謝の気持ちを伝える、それから命をいただくことのありがたさを感じることができるように取り組んでいます。

クラブ活動では地域の方にもご協力いただいて活動しています。本校では、隣接する保育園内で園児と一緒に遊び等して交流等しています。資料の方に写真がのっていますけど、保育園の遊具と一緒に遊ばせていただきました。地域のグランドゴルフクラブの方に教えていただきながら一緒にプレイしたりもしています。

各校で多くの方に支えられて対話の学習活動も行っています。

以上で小学校長会からの報告を終わります。

#### ○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。

先ほど地震の話が、私も報告したと思うんですが、津波が到達するまでの時間が約4時間ということ、藤田市長も防災訓練の最後にこの4時間ある中で、どれだけ何ができるかがとても重要だということだったので、また学校におきましてもそうしたことを含みながら防災教育、こういった避難訓練の折に子どもたちと一緒に考えてもらえればと思います。中学校の方で来られている厚陽小中とは逆の、本山は高台にあるので、まずは学校に行くということなんですが、厚陽小中学校は逆に低い所にあるので、避難場所へ移動となると思います。いろんな学校によって条件が違うと思いますので、ぜひ学校ごと地域ごとで防災訓練の方をよろしくお願いします。

それでは中学校長会から、厚陽小中一貫校永田校長先生よろしくお願いします。

#### ○永田中学校長会代表

中学校長会から報告いたします。

3学期が始まり早3週間が経ちました。1月8日には各校始業式を行い順調な滑り出しができています。本校では、初日からインフルエンザで欠席が数名いたことと、寒波の到来を受けて校長室と各教室をミートでつないでオンラインで実施いたしました。小学校1年生から中学校3年生までの9名の児童生徒が、校長室から意欲に満ちた新年の誓を述べていいスタートが切れています。しかし、今週に入りインフルエンザの罹患者がまた少しずつ出始めて心配しているところです。

それでは、中学校の状況について2点報告いたします。

1点目は、3年生の受験状況についてです。インフルエンザ等の予防対策を講じながら、どの学校も緊張した状況で受験シーズンを迎えているところです。私立高校では、専願・併願ともに推薦入試が全て終わりました。今まさに一般入試が始まっています。近隣の高校で言いますと本日は、宇部の慶進高校の一般入試がございました。全ての私立高校が今年度からWeb出願になっており、各校のホームページや募集要項のQRコードからアクセスして出願に必要な情報入力や受験料の支払を各家庭で行っています。スタートするまでは本校でも本当に滞りなく進むのかとても教職員不安がっていましたが、現時点で何事もなくスムーズにできているところです。公立高校も今年度からWeb出願が始まっています。また、昨日から従来の推薦入試に変わる特色選抜の出願が始まっております。先ほど私もこの特色選抜の校長承認のボタンを押してきたところです。2月4日には、特色選抜の面接等が行われます。本校からは、中学校3年生8名中3名が受験予定となっております。中学校はどこも年内から管理職、あるいは地域の方々を中心とした面接指導を昼休みや放課後を使って行っているところです。資料の左上に載せております。

2点目は、1・2年生の進路指導、キャリア教育についてです。毎年、各校特色のある取組を行っております。本校では、1・2年生が高校調べを手分けして行ったり、3年生の進路に合わせた情報を随時提供したりしています。学校によっては、1年生を対象とした「ようこそ先輩」と題して近隣高校の1年生、卒業生による高校生活の紹介を行っているところもあると聞いています。2年生は、これまでの職場体験や進学したい学校調べ等を基に、将来への誓いの言葉を作成して保護者を招いた「立志式」、あるいは「立志のつどい」で披露します。竜王山山頂で行う学校、立志式に合わせてキャリア教育講演会を開く学校もあります。残りの5枚が立志、キャリア教育についての写真となっています。

このように、最高学年や次学年への進級に向けて、将来の希望や決意を抱いて一層意欲的に学校生活を送ることができるよう、学習の準備を各校で進めているところです。

中学校長会からは以上です。

○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

質問なのですが、資料の写真で面接官の方と左側に生徒さんが2人いらっしゃるんですけど、それはどのような役目をされてる方ですか。

○永田中学校長会代表

面接をされている方は、学校運営協議会の方です。左側にいる生徒は、3人1グループで他の友達の様子を伺いながら自分を振り返って、改善するところは改善する、アドバイスも一緒に聞くようにしていると聞いております。

○竹田委員

そうなんですね。はい、ありがとうございます。ちょっと特色あるかなと思ったので。

○長友教育長

その他よろしいですか。

前も聞いたかもしれませんが、推薦に変わる新しい特色選抜を少し説明していただけますか。

○永田中学校長代表

公立高等学校は、今年から特色選抜という名で推薦入試を行っております。今までは学校長が推薦するという確約のもと、それから合格したら必ずその学校に入学するという確約のもと行っておりましたが、この特色選抜は学校長の推薦はありません。本人がこの学校に行って、こんなことをしたいという強い思いを持っていれば自己推薦書というものを提出する書類はあるんですが、そこが一番大きな違いかなと感じております。

以上です。

○長友教育長

永田中学校先生がボタンを押したというのは・・・。

○永田中学校長会代表

はい、特色選抜の3名の氏名等々間違いがないか、基本の情報入力や保護者名そして受験料がきちんと支払われているかを確認して、承認ボタンを押したということです。それを受けて学校から必要な調査書、生徒が書いた自己推薦書をPDFファイルにしてデータで送る運びとなっております。

○長友教育長

ずいぶん電子化されICT化した感じですね。ちなみにそれによって、先生方のこれまでの働き方について少し改善があったのでしょうか。

○永田中学校長会代表

そうですね、少しあります。その中でも一番大きなものは、今まで紙で提出をしていましたので各高等学校に遠ければ郵送も考えられるんですけども、とてもとても大事な書類ですので、持参してい

ました。それから合格通知も取りに行く等、そういった準備や対応が必要でしたが、今年からは全て机で行えるということで、一番の大きな改善かなと思っています。

○長友教育長

はい、事務手続き上の人的なミスがICTに変わってミスが無くなればいいなと思います。

その他よろしいですか。

(「はい」という声あり)

それでは、以上で報告を終わりたいと思います。

---

#### 次回の会議日程

○長友教育長

それでは、次回会議日程について教育次長よろしく願いいたします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。次回の日程でございますが2月19日(木)16時00分から場所は市民館で開催することをお諮りいたします。よろしく願いいたします。

○長友教育長

はい。皆さんよろしいでしょうか。

(「はい。」という声あり)

それでは、ここで前半を終了いたします。どうもお疲れ様でした。

---

15時09分休憩

15時11分再開

---

#### 議案第2号 山陽小野田市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について

---

○長友教育長

次に、議案第2号「山陽小野田市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局説明をお願いします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

議案第2号についてご説明いたします。資料をご覧ください。こちらにつきましては、給食センターの勤務時間の変更でございます。現行早出が「午前7時30分」から「午後4時15分」までの勤務時間となっておりますが、給食センターの勤務実態に合わせまして、早出の開始時間を「午前7時15分」終わりを「午後4時」と改正するものでございます。

改正の理由といたしましては、物資の搬入等々の時間の関係で15分早く勤務しないと給食の時間に間に合わない恐れがありますので、規則を改正して給食を時間内に作り上げて配送することを完了するための改正となります。

説明は以上となります。

○長友教育長

この件に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

(「ありません」と言う声あり)

今までだんだん早くなってきていたので、ここで勤務実態に合わせるということですかね。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい、そうです。

○長友教育長

それでは採決いたします。議案第2号「山陽小野田市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について」を原案どおり決することにご異議はございませんか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

ありがとうございます。全員賛成により可決されました

---

### 議案第3号 令和8年度全国学力・学習状況調査への参加について

○長友教育長

続きまして議案第3号「令和8年度全国学力・学習状況調査への参加について」学校教育課、説明をお願いします。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

議案第3号について説明いたします。まず提案理由についてですが、本調査は、全国的な児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証・改善するとともに、学校現場の指導改善に資する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とするものです。本市教育の質の維持向上のため、引き続き本調査を実施いたします。

次に、調査概要です。お手元の資料に沿ってご説明をします。対象学年は小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒です。実施教科は、小学校6年生が国語、算数と質問調査です。今年度実施された理科は、来年度はありません。

中学校3年生は、国語、算数、英語と質問調査です。今年度は理科が実施されましたが、来年度は英語が実施されます。質問調査と中学校英語については、CBTで実施されます。

英語の話すことについてはまだ決定しておりませんが、全国から抽出された500校で実施されま

す。

実施日ですが、筆記試験が令和8年4月23日（木）、児童質問調査が4月24日（金）から5月8日（金）までの間で実施、中学校英語と生徒質問調査は、4月20日（月）から4月23日（木）の間で実施、それから中学校英語の話すことは、抽出されれば4月24日（金）及び4月27日（月）となっております。

全国学力・学習状況調査の結果は、各学校及び市教委において分析し、成果や課題、今後の手立て等を各学校と共有しつつ、授業改善に生かしてまいります。

以上でございます。来年度、令和8年度の学力・学習状況調査について、参加の承認をよろしくお願いいたします。

○長友教育長

ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問はございませんか。

（「ありません」と言う声あり）

松原分校の生徒は参加せずに、その他は参加するという事なんですね。参加しない理由はなんですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

特別支援学級に在籍する生徒は、学校によりという風に定められていて、松原分校は知的障害学級の集合体ということで参加はしないということです。

○長友教育長

その他の中学校の知的学級は参加しないということですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

まだ確認ができておりませんので、確認いたします。

○長友教育長

特別支援学級が参加しないというのは、特別な教育課程を組んでいるというところが大きな理由になるということよろしいですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。

○長友教育長

そうすると情緒学級はどうなんだという話が出てくるだろうと思うんですけど。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

教育課程で言うと、情緒障害学級は該当学年の学習をしているというところで、知的障害学級というのはその子の特性に合わせて、下学年の学習をやってもいいということでございます。

○長友教育長

はい、よろしいですか。

それでは、「令和8年度全国学力・学習状況調査への参加について」参加するという事よろしいですか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

ありがとうございます。全員賛成により可決いたしました。

報告第1号 令和7年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について

○長友教育長

続きまして、報告第1号「令和7年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について」事務局説明をお願いします。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

報告第1号について説明いたします。

11月13日（木）と27日（木）の午後に、今年度の第2回・第3回の山陽小野田市教育支援委員会が行われました。

会議の内容は、市内小中学校での通級指導教室の報告と小中学校在籍児童生徒の就学児童、そして、来年度の小学校に入学予定である市内の未就学児についての教育支援についてです。

本市の通級指導教室設置校は、11校です。小学校が6校、中学校が5校となっています。市内小・中学校に通室している児童生徒は、合計で222名です。222名についての報告があり、適切な支援がなされていることを確認いたしました。

また、通級指導教室が設置されていない学校については、保護者の送迎等により近隣の学校への教室に通級しています。

その後、小中学校在籍児童生徒38名について、就学に関する審議及び判定を行いました。審議の結果、希望した全ての児童生徒において在籍の継続、在籍変更が適切であると判断されました。

来年度小学校に入学する市内の未就学児については、18名の審議及び判定を行いました。そのうち、4名が総合支援学校、14名が市内小学校の特別支援学級への入級が適切であると判断されました。

以上で報告は終わります。

○長友教育長

ただ今の報告に関して、ご意見ご質問はございませんか。

○末永委員

はい。

○長友教育長

はい、末永委員。

○末永委員

この議事を見させていただいて、どういうことかなと思ったので質問させていただきたいのですが、7ページ（2）の「小学生37名と中学生1名は、校内支援委員会の所見のとおり在籍変更が可能と判定された」とあって、【在籍変更可能者の内訳】に「中学生1名」「中学生1名」となっているのが2名と思ったんですけど、どういうことなんでしょうか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

確認いたしますが、想像ではいけませんが、「・」2番目の中学生1名は間違いであろうと思います。今手元にある資料は審議の結果の名簿があるんですが、特別支援学級から通常学級への中学生の方は審議をされていないので、申し訳ございませんでした。

○長友教育長

審議されていないんですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

審議する方の名簿の中の特別支援学級から通常学級へというのは、38名の中にないので。

○長友教育長

審議していないと変更できませんから。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

審議というか、名簿の中に存在していません。

○藤山教育部長

人数の合計が合わないので、次回の定例会で報告をさせていただきます。

○末永委員

はい、よろしくお願いします。

○長友教育長

それでは確認をお願いします。その他よろしいですか。

それではこの件に関しまして人数につきましては次回報告があるということですが、一応全体としてこの報告についてご承認いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

ありがとうございます。全員賛成により承認されました。

---

#### 報告第2号 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について【概要】

○長友教育長

続いて、報告第2号「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について【概要】」の説明をお願いします。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

報告第2号について説明いたします。

本調査は、令和7年4月から7月の間、市内小中学校において実施されました。調査内容は、実技に関するものと、運動習慣や生活習慣等に関する質問調査です。

実技調査の結果は、全国平均を上回る種目は、小学5年生男子で8種目中5種目、小学5年生女子で7種目、中学2年生では9種目中、男女ともに3種目でした。全体としては、反復横跳びと持久走、20mシャトルランが平均以上であり、長座体前屈が平均以下となりました。また、体力合計点では、中学2年生男子が若干全国平均以下でしたが、その他は全国平均以上であり、特に小学5年生女子で高い結果となっています。

次に、質問紙調査では、肯定的な回答が全国平均比で5ポイント以上の項目を「◎」、2ポイント以上の項目を「○」、1.5ポイント以下の項目を「●」としています。傾向としては、小・中学生ともに、女子児童生徒の肯定的回答が多く見られました。

本市の課題としては、種目による偏りが大きいことと、中学生における運動をすることへの意欲の低さとなります。さらなる体力向上のためには、これまでの取組の検討や中学生の運動意欲向上に向けた新たな取組となります。

今後の取組としては、「主体的・対話的で深い学び」の視点から「見通し・実行・振り返り」のサイクルによるさらなる授業改善や授業、家庭でのICT活用、課題分析による学校全体での取組の検討を実施していきます。また、教育委員会としても本市の課題と重点項目の周知や、学校訪問時の指導助言、好事例の横展開等を行っていきます。

以上です。

○長友教育長

この件につきまして、ご意見ご質問はございませんか。

私からいいですか。家庭での運動習慣定着にタブレットを活用するというのですが、具体的にはどのようにされるのですか。

○升谷学校教育課長兼心の支援室長

例えば、学校の体育の授業で何か自分のフォームとかダンスとかそういったものを映像として取り込んでおいて、それを家に持ち帰って自分の動きの確認や模範となるものと照らし合わせることに活用できたらと思っています。

○長友教育長

小野田中学校のリーディングDXスクール事業の授業のときに、体育の先生が学習用ポータブルにある動画を上げてそれを見ながらいつでも見れるようにという形で作られていました。そうしたものをいろんな学校でもやっていただく、または、逆に市がそれを集約してそこに行けば見られるような環境整備をしていくようなことだと思うので、ぜひ、今までのその他の研究とも関わっていますので進めて行っていただければと思います。

その他よろしいですか。

それでは採決いたします。報告第2号「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について【概要】」についてご承認いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

ありがとうございます。全員賛成により承認されました。

---

#### 県費負担教職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

---

#### 県費負担教職員の営利企業等従事許可について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

その他

○長友教育長

その他になりますが、何かございますか。

(「ありません」という声あり。)

閉会

○長友教育長

これで本日予定されていた議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆様お疲れ様でした。

15時32分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和8年 1月 22日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印